

第3回 東北復興 i-Construction 連絡調整会議を開催(H28.8.10)

東北地域全体で建設現場における生産性向上を推進するため、学識経験者、東北地方整備局、自治体、業界団体でi-Constructionの情報交換等連絡調整を図るべく開催。

今回から青森県、秋田県、山形県も参加し、オール東北で取り組む体制を構築。

- 【内容】①i-Constructionに関する情報共有 ②各関係機関の取組状況等の報告
③ICT土工建設機械のデモ視察



◆出席者

【学識経験者】

東北大学大学院 高橋教授、皆川准教授

【国土交通省】

大臣官房技術調査課、東北地方整備局

【自治体】

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、
山形県、福島県、仙台市

【業界団体】

東北建設業協会連合会、日建連東北支部、
埋浚協東北支部、日機協東北支部、
建コン東北支部、東測協

【今後のスケジュール(案)】

第4回:平成29年3月上旬に開催予定

学識経験者

- ・ICT活用の新規導入への懸念を持つ企業もある。その懸念を取り除くことが必要。
- ・ICT活用のデータを今後の維持管理へ利用することで、さらに生産性が向上。

東北地整

- ・i-Construction導入推進の為のサポート体制として、「東北i-Constructionプラットフォーム」の構築、HPを活用した広報活動を実施。
- ・東北6県及び仙台市、建設業団体と協力し、市町村や建設企業を支援することで、i-Construction導入・推進の障壁を払拭。

地方自治体

- ・ICT活用工事の試行を推進。
- ・モデル現場の抽出、現場見学会等を通じてi-Constructionを推進。
- ・総合評価方式、工事成績評価において、インセンティブの創設を検討。

業界団体

- ・i-Construction推進により、建設業界へのイメージアップの効果を期待。
- ・ICT技術を活用する場合のリスク・費用負担増に対する支援を要望。
- ・ICT技術を活用していく上で、技術者の育成も課題。

◆デモ視察（宮城県大郷町）

ICT土工建設機械を用いたデモ工事やUAV(ドローン)での測量の様子を視察。

